

職員による自己評価

A環境面

- ・ 人員配置は基準を満たして対応できている。
- ・ 子どもの活動スペースも十分に確保できている。

B児童への支援内容

- ・ オリジナルの5つの支援プログラムを組み、子どもや保護者のニーズに合わせた支援を提供している。

C関係機関との連携

- ・ 保護者や園からの希望があれば、園訪問を実施している。
- ・ 児童発達支援事業所や放課後等デイサービスの連絡会へ参加をしており、今後も継続して行っていく。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・ 契約時の運営規定については口頭で説明し、書面を渡している。
- ・ フィードバックの時間を設けて、当日の活動内容を口頭で報告し、文書も渡している。
- ・ 保護者会等の実施はできていないが、今後要望があれば検討していきたい。

E非常対応

- ・ 避難訓練は年2回実施している。
- ・ 服薬状況やてんかんの有無などをアセスメントの際に確認し、職員間で情報を共有している。

保護者による評価

A環境面

- ・ 子ども1人に対して2人の先生がついてくれることがあるので、とても手厚い。
- ・ 机と椅子、ホワイトボードがあり、学習をする場所ということが本人にとってわかりやすい環境である。

B児童への支援内容

- ・ 目標達成のために支援してくれている。
- ・ 本人の様子や特性を見ながら、支援してくれているので、目覚ましく成長する姿がみられる。
- ・ 本人の苦手なことも少しずつ挑戦させている。

C事業所からの情報発信

- ・ 毎回の学習後に「こういう事が優れているから、こうした方がいい」等の助言を貰える。

D非常対応

- ・ 定期的な避難訓練を行っているか「わからない」という声も聞かれた。

E満足度

- ・ 非常に楽しんで通っている。
- ・ 支援を受けながら子供の成長を期待したい。
- ・ 家や幼稚園ではできない体験ができ、子どもの成長を感じる。

事業所内での分析

【共通点】

- ・ 人員基準や子どもの活動スペースの確保については評価されている。
- ・ 活動プログラムが固定化されないように工夫している部分で評価されている。
- ・ 保護者との活動状況などの情報共有がなされている。

【相違点】

- ・ HPやブログなど、教室からの情報発信があまり認知されていないようで、「わからない」という評価があった。
- ・ 年に2回避難訓練を実施しているが、契約時期により未実施のご家庭もあるため保護者からは定期的な避難訓練の実施は「わからない」という回答がみられた。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・ピコオリジナルの5つの支援プログラムを組み、多様性のある活動を提案することができている。
- ・送迎時に、フィードバックの時間を設けており、活動内容の報告だけでなく、現在ご家庭で気になる点を共有して、支援に繋げることができている。
- ・おもちゃや本などのレンタルを行い、遊びや絵本の時間がマンネリ化しない対策を行っている。

事業所の改善点

- ・HPの更新やブログ等の広報活動を活発化。
- ・父母会の活動や保護者会などは、保護者の意向を確認。
- ・避難訓練の実施要項の伝達。
- ・マニュアルについては、保護者の目につきやすい場所に設置。
- ・小学校への移行支援も検討。

事業所の改善への取り組み

- ・活動報告の一環として保護者向けの月報を作成し、今後配布していく。
- ・父母会や保護者会などは、保護者からの希望があった場合は検討し実施していく。
- ・マニュアルの位置を変更し、保護者の目につきやすい位置へと移動する。
- ・小学校への移行支援として、要望があれば連携がとれる体制を整えていく。
- ・避難訓練の実施時期などを、契約時に口頭にて説明を行っていく。また、実施要項の掲示や月報などでお知らせを行い、予定を伝達する。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今回初めての評価でしたが、多くのご家庭から「事業所の支援に満足しているか」や「子供たちは通所を楽しみにしているか」という問いに対して「はい」とお答えをいただくことができ、大変嬉しく思います。また、非常時対応についての取り組みや日々の活動などの情報発信力が乏しい事などを今回のアンケートで知ることができました。今回頂いたご意見をもとに様々な点での業務改善を行い、今後もお子さまに合った支援を提供し、安心して通える教室を目指して職員一同で努めてまいります。

事業所名 オレンジスクールピコ 溝ノ口教室

担当者 _____ 管理者 八木朋愛

保護者等向け児童発達支援自己評価表（公表）

公表：平成31年3月31日 事業所名：オレンジスクールピコ 溝ノ口教室

保護者数（児童数）：18 回収数：13 割合：72%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	13				・子ども1人に対して2人の先生がついてくれることがあるので、とても手厚いと思う	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	2			・机と椅子、ホワイトボードがあり、学習をする場所ということが本人にとってわかりやすいと思う	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13				・教室がしっかり区分けされていていいと思う	
適切な 支援提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	13				・お願いしたことは、要求よりずっと目標達成のためにやってくれています	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12				・本人の様子や特性を見ながら、支援してくれているので、目覚ましく成長することができています	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12	1			・本人の苦手なことも少しずつできるようにしてくれています。 ・まだ回数が少ないので、これからの支援に期待したい	
	⑧	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	12	1			・まだ回数が少ないので、これからの支援に期待したい	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	1	6		・保育園に通っているので、必要性を感じない ・個人的には幼稚園に通っているので、十分だと思います	
保護者	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	12			1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	10		3		・保護者が学ぶ機会があれば子供のためにも自分のためにもとても嬉しいし、必要だと思う ・毎回の学習後に「こういう事が優れているから、こうした方がいい」等の助言はいただいている。	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解が出来ているか	12	1				
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	2		1	・まだ回数が少ないので面談等は行っていないが、毎回の学習後に助言をいただいたりするのでありがたい	

への説明等	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	2	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の関わりがもちにくいように感じる ・まだ保護者同士の連携がないので、これからだと思ふ ・保護者同士の交流があると、少し助かる部分もあるかもしれません。 	父母会の活動や保護者会などは、保護者の意向を確認し、保護者からの希望があった場合に検討していく
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応しているか	11			2		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13					<ul style="list-style-type: none"> ・毎回提出する必要性はないが、連絡帳のようなものがあれば、より深い支援につながると思う
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	2		5		活動報告の一環として保護者向けの月報を作成し、今後配布していく。
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	10			3		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	11	1		2		<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの位置を変更し、目につきやすい場所へと移動する
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	2		5		避難訓練の実施時期などを、契約時に口頭にて説明を行っていく。また、実施前にも掲示などにて行うことをお伝えしていく。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	13				<ul style="list-style-type: none"> ・毎週とてもたのしみにしています。 ・行きたくないということを聞いたことがないので、楽しみにしているのだと思う ・とても楽しみにしています ・非常に楽しんで通っている 	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	13				<ul style="list-style-type: none"> ・支援を受けながら子供の成長を期待したい ・家や幼稚園ではできない体験ができ、子どもの成長を感じる ・先生がとてもよく勉強しており、子どものためにあたたかい気持ちをもってのびが伝わります 	

○この「保護者向け児童発達支援評価表 集計（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業者における児童発達支援自己評価表（公表）

公表：平成31年3月31日 事業所名：オレンジスクールピコ 溝ノ口教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		法令を遵守したスペースを確保しています。今後も継続して確保していきます。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○		法令を遵守した人数で配置しています。今後も継続して配置していきます。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		療育室と待合のスペースを別にしていません。 また、ビルにはエレベーターも設置されています。 今後も継続して適切な環境設定を行っていきます。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日清掃を行っており、今後も継続していきます。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		毎日必ず情報共有の時間を設け、行っています。今後も継続して情報共有の時間を設けていきます。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	○		保護者等からの要望があった場合は、職員内で対応策を話し合っています。保護者からの要望を聞き、業務改善に繋げていきます。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		今回初めて実施致します。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		必要に応じて検討していきます。
	⑨	職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		研修を受講した後に、職員間で情報共有を行っています。今後も継続的に研修を受講していきます。	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		保護者のニーズや子どもの課題を分析し、計画を作成しています。今後も継続していきます。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		教室で定めた物を統一して使用しています。今後も継続していきます。	

適切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		子どもにあった支援内容を検討し、設定を行っています。今後も継続していきます。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		職員間で、情報の共有を行いながら実施しています。今後も継続していきます。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		定期的にケース会議を行っています。今後も継続していきます。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		オリジナルの5つの支援プログラムを組んで実施しています。今後も継続していきます。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		保護者ともよく相談し、お子さまに合う支援を提供しています。今後もお子さまに合った支援を提供していきます。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝と支援開始前に支援内容の共有と役割分担についての確認を行っています。今後も確認をしていきます。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		療育終了後などに、その都度振り返りを実施しています。今後も継続して振り返りを実施していきます。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日記録をとり、支援の検証・改善につなげていきます。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		一定期間での見直しは実施しています。	より細かい支援を提供するためにも、児童の成長をみながら、それぞれに合ったモニタリングの時期を見直していきます。
関係機関や保護	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		一部の利用者については、相談支援事業所と連携をはかっています。今後も継続して連携をとっていきます。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			今後、実施を検討していきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		対象児童がいません。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		対象児童がいません。	

者との連携関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者や保育園や幼稚園から希望があれば、行っています。今後も情報共有をしていきながら、連携をとっていきます。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		今後、実施を検討していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		高津区の児童発達支援、放課後デイサービス連絡会に参加しています。今後も連絡会に積極的に参加し、連携をはかっていきます。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		今後、実施を検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		今後、実施を検討していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		課題分析記録表をもとに、保護者へのフィードバックの時間を設けて、発達状況や課題についての共通理解を深めています。今後も継続して実施をしていきます。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対しての家庭支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		保護者から要望がある際には、適宜助言等を行っています。今後も継続して実施をしていきます。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約の際に、口頭で説明をして、書面でもお渡ししています。今後も継続して実施をしていきます。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		面談にて内容等を説明し、同意を得ています。今後も継続して実施をしていきます。	
	34	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		フィードバックの際などに、適宜実施をしています。今後も継続して実施をしていきます。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		今後、保護者からの要望があれば、保護者会等を検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談等の申し入れがあった場合は、日程を調整し、迅速に対応しています。今後も継続して実施をしていきます。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		今後、保護者向けの月報を作成し、毎月配布していきます。

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報利用同意書を説明した上で保護者より同意を得ています。	今後も取り扱いには十分注意をしていきます。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		お子さまや保護者に合わせた伝達手段を使用しています。今後も継続して配慮を行っていきます。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		今後、実施を検討していきます。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		マニュアルを作成し、教室内に掲示しています。今後も継続して実施をしていきます。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に2回実施しています。今後も継続して実施をしていきます。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		アセスメントの際に、状況を確認し、職員間で情報の共有を行っています。今後も職員間で情報を共有していきます。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	食事提供を行っていません。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事例集を元に、職員間で対応策や危機管理について共有しています。今後も継続して実施をしていきます。	
	④⑥	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止研修を定期的に行っています。今後も継続して実施をしていきます。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援支援計画に記載しているか	○		口頭では説明を行っています。	今後は口頭説明だけでなく、書面でも同意を得ていきます。

○この「事業所向け児童発達支援自己評価 集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。